

科目名	デザイン論 3							年度	2025
英語科目名	Design theory 3							学期	1
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	窪田 雅代		教員の実務経験	有	実務経験の職種	インテリア コーディネーター			
【科目の目的】 インテリアコーディネーター1次試験突破に必要な力をつけ、インテリアコーディネーターになるために必要な知識を身につける。 過去問題を使用しながら、知識の定着と試験の傾向をつかむ。									
【科目の概要】 <ul style="list-style-type: none"> インテリアコーディネーター1次試験の過去問題や予想問題を繰り返し解くことで知識の定着を図る。 授業のフロー 前回分の演習（2回目）⇒新しい単元の演習（1回目）⇒解説⇒講義で扱った演習問題を宿題（3回目）⇒提出により定着率 上記フローを繰り返すことにより、過去問になれ、試験への実力をつけていく。 									
【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> インテリアコーディネーター資格試験 一次試験の合格を目標とする。 徹底的に過去問題を演習することで、当日に合格率を超える実力を身につける。 試験当日までに【過去問題集：6周・ほぼ100%の正答率】を目指す 									
【授業の注意点】 <ul style="list-style-type: none"> 授業日数75%未満の場合、定期試験が60点以下の場合、不合格の判定となる 									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	頻出問題において 正答率90%以上	頻出問題において 正答率80%以上	頻出問題において 正答率70%以上	頻出問題において 正答率60%以上	頻出問題において 正答率60%未満				
到達目標 B	過去問題において 正答率90%以上	過去問題において 正答率80%以上	過去問題において 正答率70%以上	過去問題において 正答率60%以上	過去問題において 正答率60%未満				
到達目標 C	予想問題において 正答率90%以上	予想問題において 正答率80%以上	予想問題において 正答率70%以上	予想問題において 正答率60%以上	予想問題において 正答率60%未満				
【教科書】									

インテリアコーディネーターハンドブック（上巻）

【参考資料】

インテリアコーディネーター一次試験 過去問題徹底研究
上巻・予想問題集1次試験 予想問題徹底研究 上巻

【成績の評価方法・評価基準】

期末テスト：80% 期末テストのスコアに対する評価
宿題提出率：10% 毎授業ごとに出す宿題の提出率に対する評価
平常点：10% 授業中の態度や取り組みの様子に対する評価

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		デザイン論3			年度	2025
英語表記		Design theory 3			学期	1
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	過去問題演習①	試験までのスケジュール説明 問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
2	過去問題演習②	問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
3	過去問題演習③	問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
4	①～③ 復習テスト	講義①～③ の定着度を確認する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
5	過去問題演習④	問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
6	過去問題演習⑤	問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
7	過去問題演習⑥	問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
8	④～⑥ 復習テスト	講義④～⑥ の定着度を確認する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
9	過去問題演習⑦	問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
10	過去問題演習⑧	問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	
11	⑥～⑧ 復習テスト	講義⑥～⑦ の定着度を確認する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3	

12	予想問題集	問題演習を通じ 苦手を克服する	過去問演習	正答率を80%にもっていく	3
13	予想問題集	問題演習を通じ 苦手を克服する	予想問演習	正答率を80%にもっていく	3
14	予想問題集	問題演習を通じ 苦手を克服する	予想問演習	正答率を80%にもっていく	3
15	期末テスト	現在の実力を 確認する	期末テスト	試験を通じて今後の課題を見つける	3
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					